

地域コミュニティの情報化推進及び普及

1. 事業目的・・・IT利活用による地域情報化に関する調査・研究

✓ 地域経済の活性化の視点

地域経済活性化への取り組みは、“需要を増やし、生産性(地域としての)を高める”ことである。その中心にあるイノベーションは、新たなビジネスモデルやマーケティングを前提としたものであり、各企業や自治体のイノベーションへの積極的な取り組み(“創意工夫”)が重要である。

✓ 地域コミュニティの活性化の視点

地域において様々な社会問題が顕在化・深刻化する中で、地域自らが地域課題を認識・共有し、それらを自主的・主体的に解決する力“地域共生力”の醸成・向上を図っていく必要がある。基盤となるのは、地域コミュニティの活性化であり、そのための施策を実行していく(地域住民自らが課題解決していく)

2. 事業概要と成果

下記の2件の視察を行い、地域情報化及び地域活性化に向けた現地視察と情報収集を行い、特徴的な取り組み・施策のリサーチを行った。

① 山梨県甲府地区視察「山梨セッション」(2019.8.29)

山梨県庁(情報政策課、新事業・経営革新支援課)を訪問し、山梨県における情報政策及び新事業創造に関する取り組みについて伺うとともに、意見交換を行った。また、山梨県産業技術センター(企画連携推進部)を訪問し、同センターにおける産業支援の取り組みについて伺うとともに、設備見学を行った。

② 秋田県由利本荘地区「秋田セッション」(2019.11.26～27)

秋田県由利本荘地区は、TDKを中心としたものづくり企業が集積しており、高度加工技術を有する中小企業や先端技術産業の研究・生産拠点が多数立地している。それらを支える自治体及び大学・産業支援機関を訪問し、その取り組みについてリサーチを行った。

⇒ 主な訪問・視察先：本荘由利産学振興財団、秋田県立大学、由利本荘市役所、TDK 歴史みらい館

